

「オリックス・バファローズ地デジPR作戦」の実施

社団法人デジタル放送推進協会と近畿広域地上デジタル放送推進協議会は、6月12日京セラドーム大阪において、プロ野球「オリックス・バファローズ」の協力を得て地デジの普及促進活動を行う、「オリックス・バファローズ地デジPR作戦」について記者発表会を行い、テレビ・新聞各社の取材を受けました。

この「地デジPR作戦」は、当日のセ・パ交流戦[オリックス・バファローズ×横浜ベイスターズ]において、近畿の地デジ推進大使の「TEAM2011」と「地デジカ」がオリックス・バファローズ地デジ仕様のユニフォームを身にまとい、来場者へのPRと当日の放送により、球場内外でのパフォーマンスで地デジの一層の周知効果を高めた普及促進活動を展開するものです。

発表会では、近畿の地デジ推進大使「TEAM2011」（NHK：中村慶子、毎日放送：斉藤裕美、読売テレビ放送：森若佐紀子）と「地デジカ」がオリックス・バファローズ地デジ仕様のユニフォーム姿で登場。黒葛原栄彦近畿総合通信局放送部長による主催者挨拶、井上利丸日本放送協会大阪放送局副局長からは今回の取り組みの詳細説明、吉村久充読売テレビ放送執行役員技術局長からは今後の地デジ普及促進の取り組みについて説明があり、残すところ一年となった地デジ完全移行を訴えました。

そして、会場にはオリックス・バファローズ選手会長の日高剛捕手が応援に駆けつけ、マスコットのネッピーとリプシーも登場しました。日高選手は、地デジ化お済みですかの問いかけに「もちろんです！地デジは映像がきれいです」と心強く話し、TEAM2011と地デジカに「がんばって！」と激励の言葉を贈っていただきました。

当日の試合では試合開始直後地デジカは観客席に登場、5回裏終了時と7回表終了時にフィールドにおいてTEAM2011と地デジカによるPRを実施しました。

また、球場の入場ゲート付近において、デジサポが「地デジ相談ブース」を開設し、入場者に地デジ移行をPRするクリアフォルダを配布するなど多角的な展開で普及促進活動を進めました。

※読売テレビ 吉村氏の吉は土に口です。

